



職場でのコミュニケーションを目的とした懇親会の必要性、76%が「必要」。  
夜の懇親会を行う職場は現在 90%、一方参加したくても出来ない人も少なくない。  
ライフスタイルの多様化から、職場では夜よりも「昼の懇親会」を求める人が増加中。

お弁当宅配・ケータリングの総合モール「ごちクル」・デリバリー型の社員食堂「シャショクル」を運営するスターフェスティバル株式会社（本社：東京都渋谷区、代表：岸田祐介）と「ごちクル」のお弁当宅配サービスを法人のお客様に提供しているアスクル株式会社（本社：東京都江東区、代表：岩田彰一郎）は、女性の社会進出が進むなど、ライフスタイルが多様化する職場で求められている「社内コミュニケーション」について把握し、必要な食事シーンのニーズを把握するため、「社内コミュニケーションについてのアンケート」を共同で実施しました。

## 「社内コミュニケーションについてのアンケート」結果

働く528人にアンケート

ライフスタイルの多様化にともない、  
求められるのは「飲みニケーション」より

# 「お弁トーク」

### 【調査概要】

調査方法：インターネット調査、調査対象：アスクルご利用企業 購買担当者

実施機関：2016年4月22日～4月25日、サンプル数：528人

### 【調査結果ご案内 URL】

<https://gochikuru.com/convivialparty/survey/>

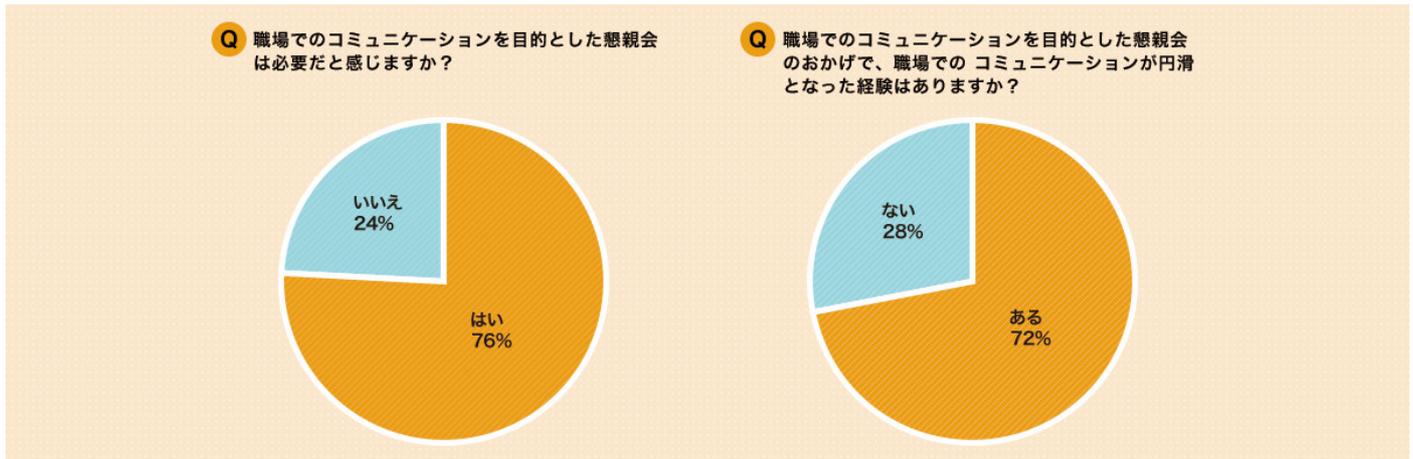
<https://askul.gochikuru.com/convivialparty/survey/>

<https://soloel.gochikuru.com/convivialparty/survey/>

### 【本件に関するお問い合わせ】

スターフェスティバル株式会社 広報 石尾、伊藤／TEL:03-5447-5431／Mail:press@stafes.com  
アスクル株式会社 広報 中川、小泉／TEL:03-4330-5150／Mail:press@askul.co.jp

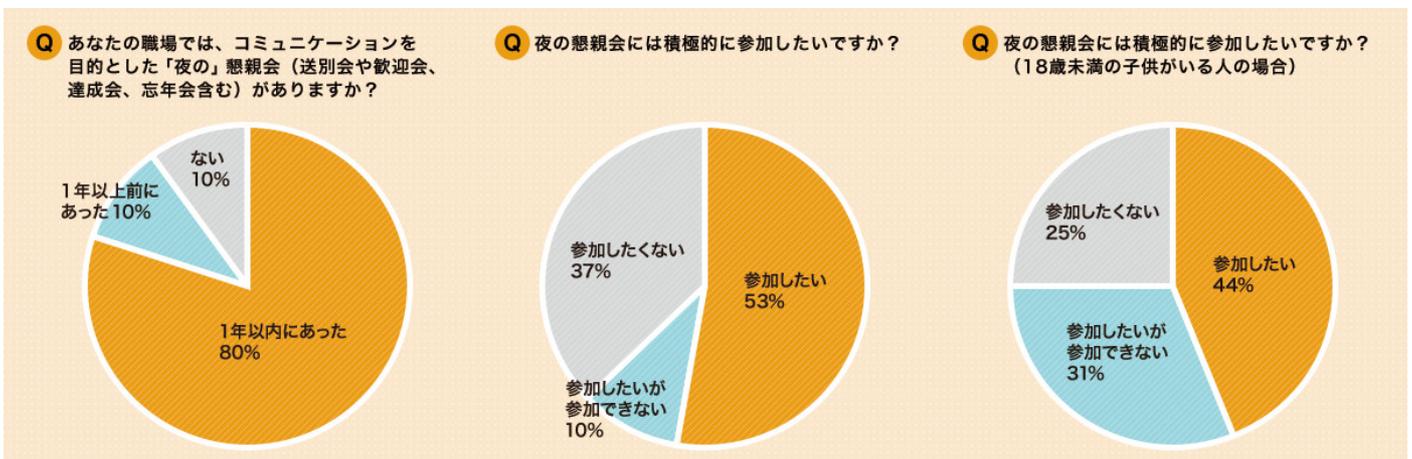
## 【1】 職場の懇親会「必要」76%、「実際にコミュニケーションが円滑になった」72%。職場の懇親会は必要、かつ有効！



職場でのコミュニケーションを目的とした懇親会について、「必要だと感じますか？」の質問に対して「はい」が76%、実際に「職場でのコミュニケーションが円滑になりましたか？」に対しては「はい」の回答が72%でした。7割以上の人が、職場の懇親会は必要、かつ有効とみています。

同じ部やチームメンバーとの懇親のほか、新入社員を迎えたときや、プロジェクト開始前後など職場で業務を円滑に進めるためにも、仕事以外でのコミュニケーションのための懇親の場が必要とされているようです。

## 【2】 子育て、介護…。「夜の」懇親会、「参加したくても参加できない」31%



実際に全体の9割の会社が職場でコミュニケーションを目的とした懇親会を開催しています。その一方で、「夜の」懇親会に「参加したいが参加できない」という声も少なくない結果となりました。特に、子どもがいる世帯については31%が「夜の」懇親会に「参加したくても参加できない」という回答でした。

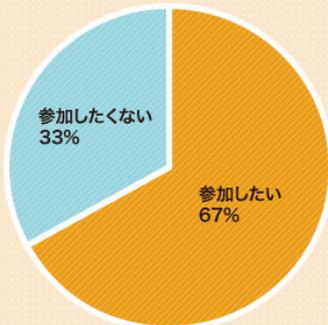
幼少期の子どもをもつ親の中には、懇親会に欠席ばかりするのも気を遣うとの理由から、有料のベビーシッターさんに子どもを預けて夜の懇親会に参加するという方もいるようです。また、「参加したくても参加できない」という理由についてはほかに、介護、金銭的な問題なども挙げられていました。

### 【本件に関するお問い合わせ】

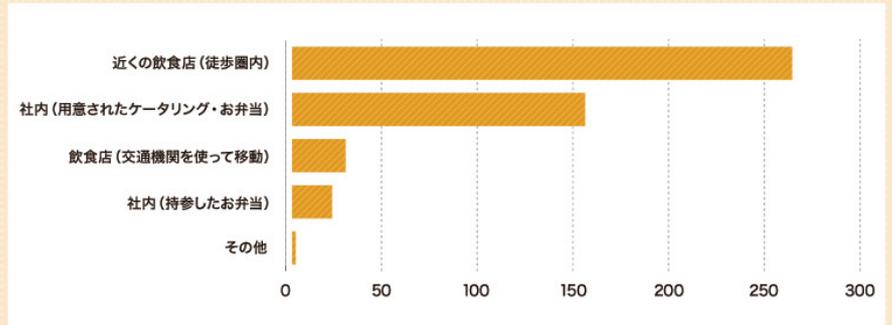
スターフェスティバル株式会社 広報 石尾、伊藤 / TEL:03-5447-5431 / Mail:press@stafes.com  
アスクール株式会社 広報 中川、小泉 / TEL:03-4330-5150 / Mail:press@askul.co.jp

### 【3】 昼の懇親会、「参加したい」が67%。社内ランチにも意欲的

Q 夜の飲み会に代わって、昼のコミュニケーションを目的とした「ランチ会」が開催された場合、参加したいですか？(18歳未満の子供がいる人の場合)



Q 「ランチ会」を実施する場合はどのような形で実施したいですか？当てはまるものを上位3つまでお答えください。



子供をもつ育児世代の方のうち、ランチタイムの時間を活用した「昼の」懇親会に「参加したい」は67%。参加したい理由として、「(職場の人と)コミュニケーションを取れる」のほか、「短時間で実施できる」「業務時間内なので参加可能」などの意見が集まりました。また、ランチ会を実施する場所は、「飲食店」について「社内(用意されたケータリング・お弁当)」という結果から、手軽に行われるランチ会を好んでいる人も多いことがうかがえます。

女性の社会進出が定着化してきた社会背景もあり、育児や介護をしながら働く人が増えている中で、時短勤務や家事の分担などプライベートの時間を確保するため、ランチタイムを活用し手軽に懇親の機会を持ちたいと考える人がいることが今回の調査から分かりました。昼に懇親会を開く際、お弁当・ケータリングを用意しての社内ランチ会であれば、近くに飲食店が少ない、移動時間がないなどの課題も解決できます。今後は「飲みニケーション」に代わり、企業では「**お弁トーク**」が定番となるかもしれません。

研修やイベント、接待会議などの用途でのご注文が多かった「ごちクル」、「アスクル ごちクル」でも、最近では社内交流を目的とした場へのお弁当注文も増えております。今後も市場の声に耳を傾け、「飲みニケーション」に代わる「お弁トーク」への期待に応えるべく、今まで以上に商品の充実、サービスの進化に努めてまいります。



【本件に関するお問い合わせ】

スターフェスティバル株式会社 広報 石尾、伊藤 / TEL:03-5447-5431 / Mail:press@stafes.com  
 アスクル株式会社 広報 中川、小泉 / TEL:03-4330-5150 / Mail:press@askul.co.jp

■ ごちクルについて (<https://gochikuru.com/>)

ワンコイン弁当から、なかなか予約のとれないお店や、お店まで足を運ばなければ決して食べられなかった名店の味まで、インターネットから注文するだけで手軽に楽しむことができるデリバリーサービスです。

47 都道府県をサービスエリアとし、全国で 800 ブランド 8,200 種の商品を取り揃えており、これらの商品は提携する製造パートナーとともに、スターフェスティバルの商品開発スタッフがひとつひとつ商品開発を行っています。

「ここでしか食べられない料理を、世界中いつでもどこでも」の世界観を目指し、オリジナルブランドのお弁当や、「賛否両論」の笠原将弘氏やミシュラン 2 つ星獲得の名店「京料理 たか木」の高木一雄氏など、有名料理人とコラボしたお弁当なども多く手がけています。

また、2012 年よりヤフー株式会社が運営する EC モール「復興デパートメント」とともに、お弁当の売上の一部を東北復興支援への寄付とするお弁当の開発・提供を行うなどもしています。2016 年熊本の震災では、災害時支援協定を元に復旧作業に携わる作業員の方々へ合計で約 10 万食程度のお弁当提供を行い、内閣官房が発行する「国土強靱化民間の取組事例集」にも掲載されました。

■ 「アスクル ごちクル」、「ソロエルアリーナ ごちクル」について

オフィス用品通販のアスクルが、スターフェスティバルの協力のもと展開する、インターネットでお弁当やケータリングがご注文できるサービスです。アスクルの中小事業所から大企業まで幅広いお客様にご利用いただいている

「アスクル Web サイト」 (<http://www.askul.co.jp/>) または中堅・大企業向け一括電子購買サービス「ソロエルアリーナ」※ (<https://solution.soloel.com/>) にご登録いただいているお客様なら、オフィス用品と同様に Web よりご注文いただけ、ご利用料金は、アスクル商品代金とまとめてご請求いたしますので、経理処理が簡単です。

アスクル ごちクル (<http://www.askul.co.jp/f/services/gochikuru/>)

ソロエルアリーナ ごちクル (<http://www.soloelarena.com>)

※「ソロエルアリーナ」は、アスクルがインターネットを使って企業の各部署個別の購買プロセスを「見える化」し、発注担当者、管理担当者の購買業務にかかる時間と手間と削減し、会社全体の継続的なコスト削減をサポートする中堅・大企業向け購買サービスです。

【本件に関するお問い合わせ】

スターフェスティバル株式会社 広報 石尾、伊藤 / TEL:03-5447-5431 / Mail:press@stafes.com  
アスクル株式会社 広報 中川、小泉 / TEL:03-4330-5150 / Mail:press@askul.co.jp